

織田信長ゆかりの地を訪ねて 報告

5月22日（日）から1泊2日で、織田信長ゆかりの名古屋城、岐阜城、犬山城などを尋ねました。名古屋駅に30名の方が集合、バスでまず名古屋城を見学した後、岐阜に向かい、岐阜城を見学。夜は長良川温泉で疲れを癒し、宴会、懇親会を催しました。翌23日は犬山城、清州城を巡り、桶狭間古戦場公園を経て名古屋駅で午後4時、解散しました。名古屋稲門クラブのご尽力で大変楽しい旅をすることができました。

1 名古屋駅西口銀の時計台前に集合。折しも伊勢志摩サミットの影響で駅の構内には警官の姿が多数。



2 昼食は「まんだら慶葉閣」できしめん御膳。美味しかった！



3 天下制覇を見据えた徳川の巨城、国宝 名古屋城。金鯨輝く天守を頂く本丸。古くは那古野城と書いた。



4 贅を尽くした室内



5 織田信長は天文3年（1534）に那古野城で生まれたという。弘治元年（1555）主君であった尾張守護代織田信友を殺して、その居城の清州城へ移り、清州城から永禄3年（1560）の桶狭間の戦いへ向かったのである。



6 永禄 10 年（1567）、織田信長は稲葉山を攻撃、城下を焼き払い山頂本城への攻撃をしかけ美濃支配を成し遂げる。城下を岐阜と改め、稲葉山の山麓に四階建の御殿を築いた。三、四階の前廊からは全市が展望できる。

7. 発掘調査によって検出された巨石列の通路。



8 川端康成ゆかりの宿 ぎふ長良川温泉「ホテル パーク」。温泉で癒された後は、“都の西北”を歌う！





9 犬山城は現存する天守 12 城のうちで最古の国宝天守を持つ。天守は典型的な望楼型。最上階にある廻縁まわりのすんと華頭窓かとうまどがあるが、華頭窓は塗りこめられ完全に装飾品となっている。このことから望楼の増築が元和年間（1615～1624）に入ってからということが判明する。

10 犬山城は織田信長の叔父信康が天文 6 年（1537）に木之下城を移して築城したと伝えられている。天正 12 年（1584）小牧・長久手合戦の際には羽柴（豊臣）秀吉は大軍を率いてこの城に入り、小牧山に陣をしいて徳川家康と戦った。江戸時代、元和 3 年（1617）尾張藩付家老、成瀬正成が城主となつてからは成瀬氏が代々受け継いで幕末を迎えた。天守の創建年代は天正（1573～92）頃、慶長 5（1600）・6 年などの説があるが、現存する天守の中では最も古いと言われている。



11 今川氏・織田氏日本三大奇襲の場 桶狭間古戦場公園



made by ReikoKoto